

様式2

令和6年度 迫桜高等学校「志教育」年間指導計画

3つの視点			かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす
各教科指導目標	国語	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	地理歴史	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	公民	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	数学	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
理科	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
保健体育	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
芸術	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
外国語	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
家庭	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
情報	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
福祉	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
商業	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
農業	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
工業	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
学年共通									各学年指導目標								
指導内容	朝読書				◎				1年	新しい環境に適應して他者との望ましい人間関係を構築し互いを認め合う心を養い、自らの役割を自覚し積極的に役割を果たせるように支援する。それらを通して勤労観、職業観等の価値観形成を図り、将来設計を立案し今取り組むべき学習や活動を理解させ、実行させる。							
	玄関指導/清掃点検				◎												
	共育サポートカレンダー				◎												
	教育相談SC活用				◎	◎											
								2年	生徒が、明るく伸びやかに心身共に健全な学校生活を送ることを基本として、生徒それぞれの進路実現に向けた実力養成を支援する。LHR・ドリカムゼミ等を通して自己理解・進路理解を深め、社会情勢も視野に入れた進路目標実現へ向けて計画的・継続的に実践する態度を養う。								
								3年	最高学年として校風を築く自覚をもたせながら高校生活を送らせると共に、社会人として必要な礼儀や基本的な生活習慣を身につけさせる。また、進路指導部やガイダンス部との連携を密にして、協力・協働体制を確立し、生徒一人一人の進路目標を実現させる。								
指導内容		ねらい			指導教科等		実施時期	時数	かかわる	もどめる	はたす						
1年	高校の学習と自己理解	これまでの自己の学習に対する態度や姿勢を見直させ、高校生として学習への取り組みや、生き方や在り方について考えさせる。			産社	4月	2		◎	◎							
	適性検査結果分析会	適性検査（進路アドバイスシステム職業・学問編）を活用し、客観的な自己分析を行い自分の興味・関心、適性を探らせる。			産社	4月	2		◎	◎							
	「自己理解レポート」作成	今までの自分を振り返らせるとともに、現在の自分がどのような人間であるかを理解させ、将来の展望について考えさせる。			産社	4～6月	14	◎		◎							
	ナゾ解明型の探究発表	自分の興味のあることからみつける「なぜ」という疑問について、調査・探究し、探究活動を実践におこなうことで、探究の仕方を身につける。			総探	4～9月	14	◎		◎							
	系列選択・科目選択	自己の進路決定に向けての意識を高め、将来に向けて高校で何を学習すべきかについて、科目選択を通して深く考えさせる。			産社	4～5月	20		◎	◎							
	職業人講話	将来の職業選択に向けて、生徒各自が社会の一員として意識を高め、職業への適性を知るとともに、健全な職業観や勤労観が養われるようにする。			産社	4～7月	8		◎	◎							
	上級学校ガイダンス	進学することで取得可能な資格や進路先について理解を深め、多様な進路選択の中でそれぞれの大学または専門学校等の上級学校を理解させ、視野を広げさせる。			産社	6～7月	4		◎	◎							
	「ドリカムプラン」作成	これまでの「産業社会と人間」での学びや体験を通して、自己の将来への展望を明確にさせ、互いに発表し合うことで各自の意識を高めさせる。			産社	7～9月	20		◎	◎							
	ドリカムプラン中間発表会	これまでの「産業社会と人間」の学びや体験を通して、自己の将来への展望を明確にさせ、互いに発表し合うことで自己理解・他者理解を深める。活動を通じて学んだことを振り返り、今後の目標を考える。			産社	9月	2		◎	◎							
	困りごと解決型の探究発表	迫桜高校の後輩のために「困りごと」を解決するための「調査・探究し、探究活動を実践におこなうことで、探究の仕方を身につける」。			総探	10月～2月	14	◎	◎								
進路ガイダンス	自身の適性を知り、どんなことに興味がありどんな自分になっていきたいのか自分自身を深く見つめなおす機会とする。			特別活動	11・2月	2	◎	◎									
総合探究Ⅰ発表会	探究活動の学習成果を年次を超えて共有する。			総探	3月	2		◎	◎								
2年	自己理解	各自のドリカムプランを再確認し、目標の実現を目指してドリカムゼミでどのような活動に取り組み、課題を解決していくか考えさせる。			総探	4月	3		◎	◎							
	ビジネスマナー講座	職場体験学習に向けて、社会で仕事をしている方々と信頼を構築していくために必要な知識について学ぶ。			総探	7月	1	◎		◎							
	進路ガイダンス	積極的に情報を集め、進路先を具体的に考える力を養う。中堅年次としての自覚を促し、自己実現と希望進路の関係性を理解させる。			特別活動	7・1月	2	◎	◎								
	職場体験学習	自己の在り方生き方を考えながら実社会と関わり、探究の手法を深める。また、企業（事業所）としての課題、地域としての課題を知り、探究活動のテーマとする。			総探	8月	9	◎	◎	◎							
	地域・職業探究活動	職場体験学習を通して学習したテーマを基に、地域での生活や地域社会貢献の具体例について探究する。			総探	9～1月	16	◎		◎							
	表現力・思考力講座	発表に向けてスライドの作成やポスター発表の技術を学び、分かりやすい表現で説明できるように思考力を深める。			総探	11～2月	2		◎	◎							
	選挙に関する講話	選挙権年齢が18歳に引き下げられたことを踏まえ、社会や政治に興味・関心を持ち、有権者としての自覚と責任を持って生活できるようにする。			特別活動	2月	1	◎		◎							
	ものづくり企業見学会	地元製造業の工場を見学させることで、地元企業の認知と進路意識の向上を図る。民間就職および公務員希望者を対象に実施する。			特別活動	3月	3	◎	◎								
	先輩の話を聞く会	希望進路を達成した3年次生の話を聞かせることにより、自己の進路について考えを深めさせ、進路意識の向上を図る。			特別活動	2月	1	◎	◎								
	総合探究Ⅱ発表会	探究活動の学習成果を年次を超えて共有する。			総探	3月	2		◎	◎							
3年	職業・進路研究	進路目標や系列ごとに、3年次生としてすべきことを明確にし、各自に相応しい内容の課題に取り組みすることで、目標が実現できるようにする。			年次（放課後等）	4～9月	-		◎	◎							
	系列別探究活動	系列別に班を編制し、自らの在り方と生き方に関する課題を設定し探究活動を行う。探究のサイクルを進めながら、自分の課題とSDGsの関連性について考えさせる。			総探	4月～12月	30	◎		◎							
	進路ガイダンス	進路目標の達成に向け、進学希望者は受験校、出願入試形態、就職希望者は業種・職種について説明する。			特別活動	7月	1	◎	◎								
	総合探究Ⅲ発表会	各系列課題解決型の探究活動の学習成果を共有する。			総探	1月	3		◎	◎							
合計時数								178									